

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年6月20日 (2013.6.20)

【公表番号】特表2012-504563(P2012-504563A)

【公表日】平成24年2月23日 (2012.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2012-008

【出願番号】特願2011-529471(P2011-529471)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

C 0 7 K 14/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 5/0784 (2010.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/39

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 7/06 Z N A

C 0 7 K 7/08

C 0 7 K 14/00

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 5/00 2 0 2 M

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月17日 (2012.8.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号：1～8 からなる群から選択されるアミノ酸配列、および／または配列番号：1～8 と少なくとも80% 同一の変異アミノ酸配列を含む少なくとも2つのペプチド、および／または配列番号：1～8 もしくは該変異アミノ酸配列をコードする核酸を含むポリヌクレオチド、ならびに薬学的に許容される担体を含む、医薬組成物。

【請求項 2】

配列番号：9～20 からなる群から選択されるアミノ酸配列、もしくは配列番号：9～20 と少なくとも80% 同一の変異アミノ酸配列を含む少なくとも1つの付加的なペプチド、または配列番号：9～20 もしくは該変異アミノ酸配列をコードする核酸を含むポリヌクレオチドをさらに含む、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

ペプチドの全長は、8～100アミノ酸長、8～30アミノ酸長または8～17アミノ酸長である、請求項 1 または 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

少なくとも1つのペプチドは非ペプチド結合を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 5】

配列番号：1 ~ 20 に記載のアミノ酸配列からなる少なくとも2つのペプチドを含む、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 6】

配列番号：1 および 17 のアミノ酸配列、配列番号：2 および 17 のアミノ酸配列、または配列番号：3 および 17 のアミノ酸配列を含む少なくとも2つのペプチドを含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 7】

医薬組成物に存在するペプチドの選択、数、および/または量が組織、癌、および/または患者特異的である、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 8】

1018 ISS、アルミニウム塩、Amplivax、AS15、BCG、CP-870,893、CpG7909、CyaA、dSLIM、GM-CSF、IC30、IC31、イミキモド、ImuFactIMP321、IS Patch、ISCOMATRIX、JuvImmune、LipoVac、MF59、モノホスホリルリピドA、モンタニドIMS 1312、モンタニドISA206、モンタニドISA 50V、モンタニドISA-51、OK-432、OM-174、OM-197-MP-EC、ONTAK、PepTelベクター系、PLG微粒子、レシキモド、SRL172、ピロソームおよび他のウイルス様粒子、YF-17DBCG、Aquila'sQS21 stimulon、Ribi's Detox. Quil、Superfos、フロイントアジュバント、GM-CSF、コレラ毒素、免疫学的アジュバント、MF59、およびサイトカインからなる群から選択される、少なくとも1つの適切なアジュバントをさらに含む、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 9】

アジュバントが顆粒球マクロファージコロニー刺激因子 (GM-CSF) を含むコロニー刺激因子、またはイミキモドまたはレシキモドからなる群から選択される、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

さらに少なくとも1つの抗原提示細胞を含む、請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 11】

抗原提示細胞が樹状細胞である、請求項 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

少なくとも1つの抗原提示細胞が、

a) ペプチドでパルスされているか、もしくは前記ペプチドを提示している、または

b) ペプチドをコードする発現構成物を含む、

請求項 10 または 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

医薬組成物がワクチンとして、静脈内投与、動脈内投与、腹腔内投与、筋肉内投与、経皮投与、腫瘍内投与、経口投与、経皮投与、経鼻投与、頬側投与、直腸投与、経膈投与、吸入、または局所投与される、請求項 1 ~ 12 のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

請求項 1 ~ 13 のいずれか1項に記載の医薬組成物を有効成分として含有する、癌の予防または治療のための薬剤。

【請求項 15】

医薬組成物が抗癌ワクチンである、請求項 14 に記載の薬剤。

【請求項 16】

癌が、口腔および咽頭の癌、消化管の癌、結腸、直腸、肛門の癌、気道の癌、乳癌、子宮頸部、膣、外陰部の癌、子宮体部および卵巣の癌、男性生殖器の癌、尿路の癌、骨および軟組織の癌、カボジ肉腫、皮膚のメラノーマ、眼球メラノーマ、メラノーマ以外の眼球

癌、脳および中枢神経系の癌、甲状腺および他の内分泌腺の癌、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫、および骨髄腫であり、または、腎臓癌、大腸癌、肺癌、乳癌、膵臓癌、前立腺癌、胃癌、GISTまたは神経膠芽細胞腫である、請求項 1 5 に記載の薬剤。

【請求項 1 7】

癌が大腸癌である、請求項 1 6 に記載の薬剤。